

平成29年度教育研究活動報告書

氏名	原卓史	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	准教授
専門分野	日本近現代文学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	日本語表現法 日本文学史 日本文学講読 近現代文学専門演習 日本文学講義 文芸創作入門		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
（1）〈学会発表〉「坂口安吾「紫大納言」論—本文異同・典拠をめぐって—」（坂口安吾研究会 二〇一八年三月一日）			
（2）〈講演会〉「和田竜『村上海賊の娘』の魅力」（因島図書館 二〇一六年二月）			
（3）〈学会発表〉「坂口安吾『墮落論』論」（尾道市立大学文学三昧 二〇一五年一月）			
（4）〈著書〉『田中英光事典』（三弥井書店 二〇一四年四月）※編集協力者として参加			
（5）〈著書〉『坂口安吾 歴史を探究すること』（双文社出版 二〇一三年五月）			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
（1）〈その他〉「『オール不夜城』総目次」（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一八年三月）			
（2）〈資料紹介〉「高麗郷由来（小特集 坂口安吾蔵書書込の翻刻と解題）」（『坂口安吾研究』二〇一七年三月）			
（3）〈論文〉「和田竜『村上海賊の娘』論：成立過程と人物造型をめぐって」（『尾道市立大学談話会会報』二〇一七年二月）			
（4）〈その他〉「『共樂』総目次」（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一七年三月）			
（5）〈論文〉「坂口安吾「墮落論」論—武士道をめぐって—」（『尾道市立大学日本文学論叢』二〇一六年二月）			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）坂口安吾を中心とする〈無頼派〉〈新戯作派〉の研究			
（2）時代・歴史小説研究			
（3）カストリ雑誌研究			
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日本近代文学会、昭和文学会、芸術至上主義文芸学会、表現学会、全国大学国語国文学会、横光利一文学会（会計監査、二〇一八年三月まで）、坂口安吾研究会（現在、運営・編集委員）、近代文学合同研究会（現在、運営委員）			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
（1）小川研究室街中ゼミ「坂口安吾「紫大納言」論—本文異同・典拠をめぐって—」（於尾道商工会議所記念館 二〇一七年一月七日）			
（2）岡山県立玉野光南高等学校・出張講義「坂口安吾「ラムネ氏のこと」論」（於玉野光南高等学校 二〇一七年一月二七日）			